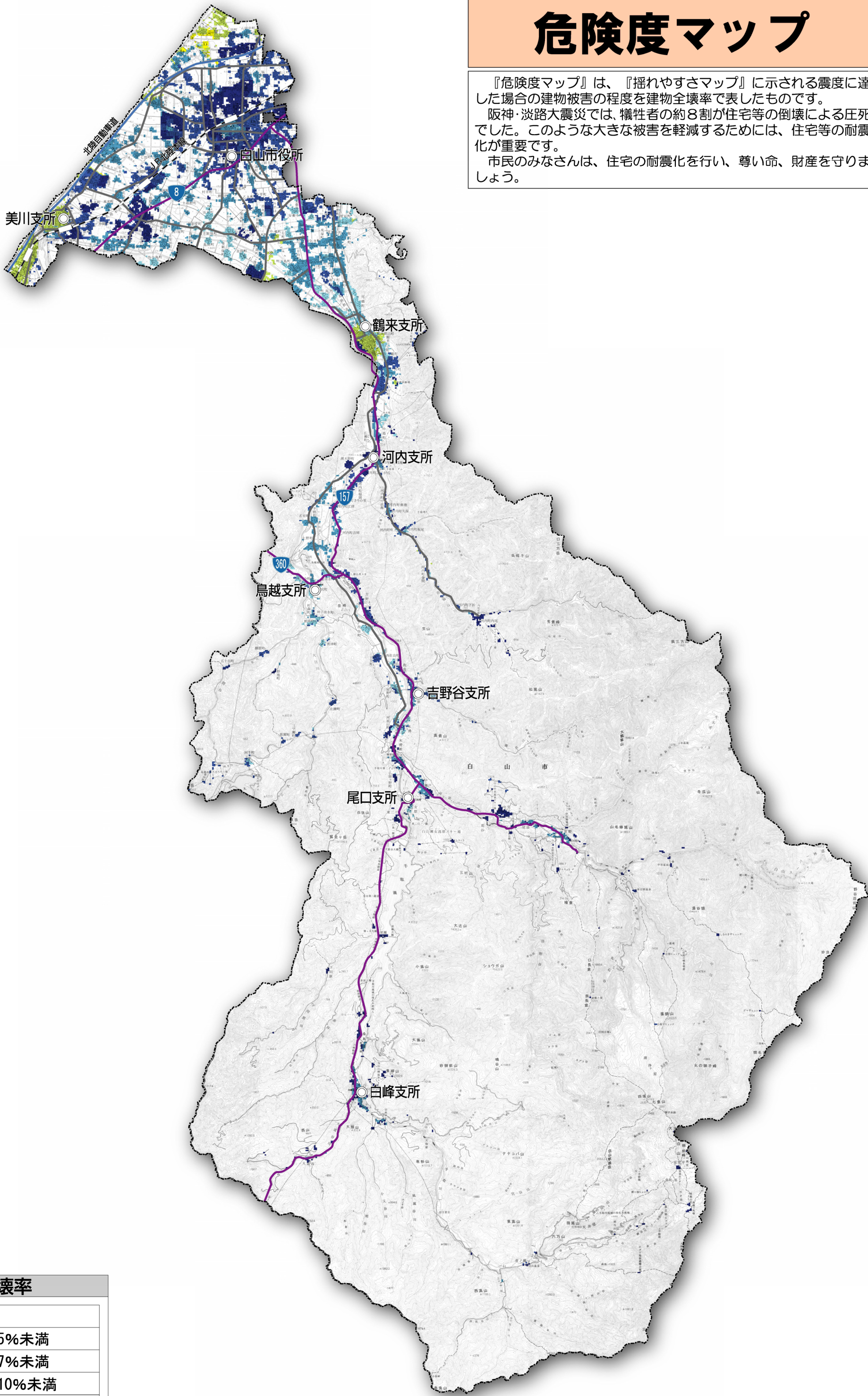


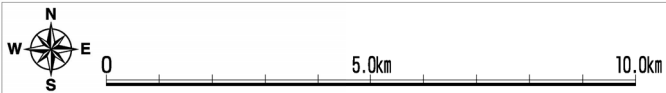
危険度マップ

『危険度マップ』は、『揺れやすさマップ』に示される震度に達した場合の建物被害の程度を建物全壊率で表したものです。
阪神・淡路大震災では、犠牲者の約8割が住宅等の倒壊による圧死でした。このような大きな被害を軽減するためには、住宅等の耐震化が重要です。
市民のみなさんは、住宅の耐震化を行い、尊い命、財産を守りましょう。



建物全壊率

	3%未満
	3%以上5%未満
	5%以上7%未満
	7%以上10%未満
	10%以上30%未満
	30%以上50%未満



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号) 平●●北●●第●●号